

# 熱中症対策への取り組み

公益財団法人 全日本軟式野球連盟

## 1. 対策への取り組み指針

※スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック（日本スポーツ協会）  
（公財）日本スポーツ協会ホームページ 「熱中症を防ごう」を参照  
<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid523.html>

※環境省熱中症予防情報  
<https://www.wbgt.env.go.jp/> ← 環境省 熱中症予防情報サイト

※JSBB 危機管理マニュアル（全日本軟式野球連盟）  
<https://jsbb.or.jp/rule/>

## 2. 競技運営に関する注意事項

※熱中症対策として、保護者2名以内がベンチに入ることができる。

## 3. 大会に関する事項

※3回終了時に5分間の給水タイムを取る

※守備時間が20分以上および場合は給水タイムを取る

※高温異常注意報が出た場合は、試合継続・実施に係る検討を行う。

※イニングの交代時に給水タイムを設ける。

## 4. 周知事項

※監督・主将会議で周知徹底をはかる。

※オーダー交換時に監督・主将に予防と対策を周知する。

※役員・審判員は常に注意をしながら試合進行にあたる。

## 熱中症対策について

### ■熱中症対策（１）

各選手の体調を把握し、寝不足、食欲不振、特に当日食事を摂らない選手がいないように、チーム関係者は特に注意をお願いします。

### ■熱中症対策（２）

開会式では、各チームのコーチも自チームの最後尾にお並びください。  
喉が渴いた選手は、適宜、水分補給をして頂いて結構ですので、ペットボトルなどをご持参ください。※スポーツ飲料類等の持参は不可とします。  
なお、具合が悪くなった選手がいる場合、監督またはコーチが当該の選手に付き添い医務室まで同行してください。

### ■熱中症対策（３）

熱中症対策として、ベンチ内に電池式の扇風機の持ち込みは認めます。

### ■熱中症対策（４）

本大会規程では、ベンチに入れるのは選手 25 名、監督 1 名、コーチ 2 名、代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各 1 名の最大 32 名になっておりますが、熱中症対策スタッフとしまして、特別に保護者 2 名がベンチに入ることを許可します。

### ■熱中症対策（５）

試合中、守備側の時間が長くなった場合（目安 20 分程度）、球審は両チームの了承を得た上で、5 分間の給水タイムを設ける。

なお、3 回終了後（タイブレーク時は 6 回終了後）に 5 分以上の給水タイムを設ける。

※その他、各イニング間で状況に応じ、給水小タイムを摂る場合がある。

※各会場において、医療従事者を待機させております。